



みどりのこえ

冬~春号
2005

No.30

長野県環境保全研究所自然保護ネット

平成17年(2005年)3月7日発行

飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0345 FAX.026-224-3415
URL: <http://www.nagano-eikouken.or.jp> Email: kanken-shizen@pref.nagano.jp



在来ニッコウイワナ(左)と米産のカワマス(右)

環境保全研究所の門出に、一言! ~「能ある鷹は爪を隠す」に終わらせるな!~

文・写真 吉田 利男

県環境自然保護課と県自然保護研究所が一体となり、長野県生物多様性研究会の協力のもと、「県版レッドデータブック(RDB)~維管束植物編~」、そして「同RDB~動物編~」が作り上げられた。これは、県内の野生生物がどのような状況にあるか? それらの大切な生命を残すには、どういう順序で、どう保護すれば良いのか?を検討するための基礎資料である。それらの保全のために「希少野生動物保護条例」の制定や「指定種」の選定にも力が注がれている。絶滅の危機に瀕している生物の保護・保全には、県の姿勢とそれを支える研究機関のバックアップが欠かせない。現在、県は環境保全研究所の研究成果に基づき、野生生物の保全対策に取り組むことが出来る体制にある。施策は、対象種の適切な保護管理計画に基づいて行われるべきで、そのためにも、研究所はときには声を大にして行政のもの申す必要がある。

ところで、今回「RDB~動物編~」の作成にあたり、イワナの保全についても議論があった。わが国のイワナは4亜種からなり、長野県では日本海側には「ニッコウイワナ」、太平洋側には「ヤマトイワナ」の2亜種が生息し、RDBではいずれも「準絶滅危惧」に指定されている。上高地の梓川では在来種として

ニッコウイワナが生息するが、過去に養殖の雑種イワナの放流があり、在来種と放流種の外見上での判別が難しい場合がある。1973年、上高地の梓川のイワナが激減し、中の湯から上流が禁漁とされた。75年と76年には東京電力による大正池の浚渫に関連した環境アセスメント調査が行われ、上高地の雑種イワナの存在を確かめるために、底生動物と魚類について私と上原武則さん(当時松本深志高校教諭)が調査を行った。その結果、イワナとカワマス(米産のイワナ)、それら両種の雑種が報告され、在来イワナはそれらとの交配により雑種化し、「幻の魚」となりかけていることが判明した。80年には「上高地のイワナ検討委員会」が、明神橋より上流に在来イワナが、下流、大正池までは雑種や、カワマス、ブラウントラウト、ニジマス、ヤマメなどの放流魚が見られると報告した。しかし、明神池より上流のニッコウイワナは、外見はそう見えても、果たして本当に在来イワナなのか?DNAによる遺伝子レベルでの鑑定ではどうなるのか?という問題がある。たとえば、環境保全研究所はこのような問題を解決する科学的な力をもっている。こういった永年の宿題を解き明かす力を、今後大いに発揮してほしい。

(信州大学名誉教授)

Contents

【巻頭言】環境保全研究所の門出に、一言!..... 1	【活動紹介】森倶楽部21..... 5
【特集】大空はだれのもの?..... 2	【読書案内】テレマークスキー漫遊奇譚-転がる石のように-..... 5
風力発電とバードストライクについて	【研究プロジェクト紹介】霧ヶ峰の自然は今...?..... 6
【炉端解説】地球温暖化問題を考える..... 4	「霧ヶ峰における自然環境の保全と再生に関する調査研究」
	お知らせと「よもクマ君」..... 8

募集中!! 「みどりのこえ」へのお便り大募集

「みどりのこえ」は、昨年度まで旧自然保護研究所のニューズレターとして発行してまいりましたが、このたび環境保全研究所の発足とともに、研究所と県民の皆さんとの新たな情報交流の場として、再出発することになりました。本誌は、自然環境チームが中心となって編集をおこないますが、本誌へのご意見やご感想、自分たちの活動の紹介、地域の自然保護に関する耳寄り情報などがありましたら、ぜひ編集担当までご連絡ください。長野県の自然環境を保全し、次の世代によりよいかたちで継承してゆくための自然保護ネットとして、たくさんの方々に活用していただける内容にしていきたいと思ひます。皆様の声をどしどしお寄せください(編集子)。

ドーンと

まとめて 出前講座

長野県環境保全研究所 研究発表会 (移動研究所)

日時 平成17年(2005年)3月12日(土)
10:30~16:00
場所 長野県松本勤労者福祉センター 3階
第6・第7会議室
松本市中央4-7-26
(電話 0263-35-6286)

入場無料

プログラム

11:00-12:00 研究発表
自然環境の保全と再生(3題)
12:00-13:00 休憩・展示解説
13:00-15:00 研究発表
地球温暖化・酸性雨(3題)
自然と暮らし(3題)
15:00-15:45 意見交換会

展示(10:30~16:00)

・研究成果ポスター発表、剥製等の展示、植物標本づくりの体験、エコクイズ、など

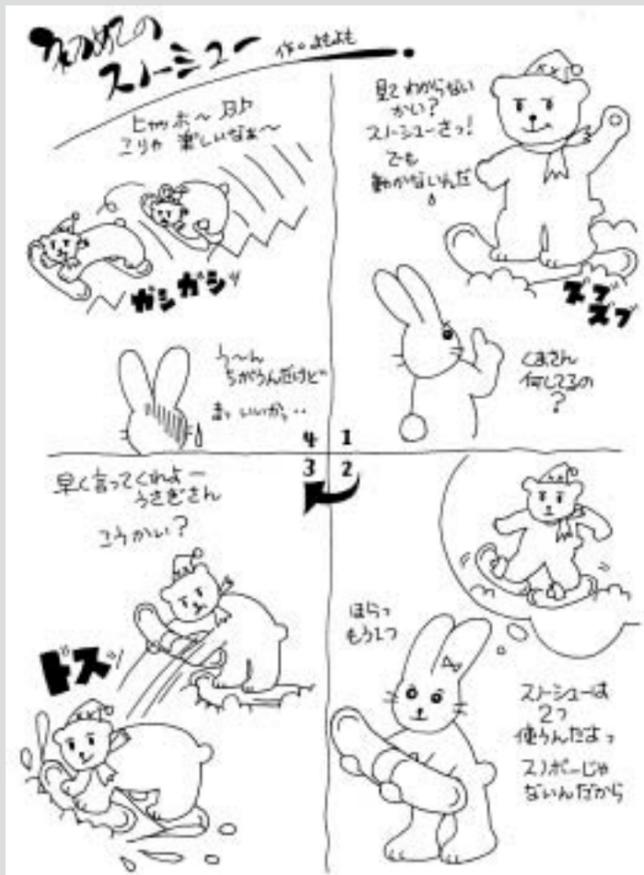
その他

・駐車場は混雑が予想されますので、お車でのご来場はできるだけご遠慮ください。

お問い合わせ

長野県環境保全研究所 飯綱庁舎(中村・畑中)まで
電話:026-239-1031
FAX:026-239-2929
E-mail:kanken-shizen@pref.nagano.jp

どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ!!



長野県緑の基金公募事業

「天平の森フォーラム」開催のご案内

とき 2005年3月27日(日)9:30~16:30
ところ 明科町長峰山森林体験交流センター「天平の森」
参加費 無料
主催 明科町・森倶楽部21
後援 長野県緑の基金
テーマ 里山は未来に引き継ぐ宝物
-みんなで語ろう里山の魅力とこれから-

お問い合わせ先

明科町役場建設課林務係(電話0263-62-3001 内線226)
森倶楽部21(電話0263-58-0360)
本誌5ページにある活動紹介をご覧ください)

編集後記

「みどりのこえ」の再出発は、たまたま京都議定書の発効という歴史的な節目と時期が重なることになりました。そこで今号では、地球温暖化の問題にも関連のある記事を少し盛り込んでみましたが、いかがでしたでしょうか。「みどりのこえ」は長野県の自然環境の保護・保全をすすめるための、開かれた情報交流の場です。面白くて、発見があり、いろんな人とのつながりが見える、そんな紙面づくりを心がけたいと思ひます。次号もまたお楽しみに。(編集担当:自然環境チーム 富樫 kanken-shizen@pref.nagano.jp)



この印刷物は、大豆油・インクおよび古紙配合率100%再生紙を使用しています。